

平成 2 9 年度
網走市における景気動向調査
＜第 I 四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章	調査要領	1
1-1	調査時点及び調査対象期間	
1-2	調査対象	
1-3	調査方法	
1-4	回収状況	
第2章	概況	
2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
第3章	各判断項目回答割合	
3-1	業況	6
3-2	完成工事高・生産高・売上高	7
3-3	在庫水準	8
3-4	採算	8
3-5	資金繰り	9
第4章	景況天気図	
4-1	記号説明	10
4-2	全業種D.I.値の状況	10
4-3	業種別D.I.値の状況	11
第5章	産業別経営上の問題点	13
5-1	回答実数	13
5-2	回答割合 (%)	13
第6章	産業別設備投資の状況	14
第7章	業界の景気動向等その他のご意見	15

第 1 章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成 29 年 7 月 7 日（金）～平成 29 年 7 月 24 日（月）
 (2) 調査対象期間：平成 29 年 4 月～6 月期実施、及び平成 29 年 7 月～9 月期見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30 件）、製造業（24 件）、卸売業（20 件）、小売業（41 件）、サービス業（44 件）、の 5 業種 159 社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

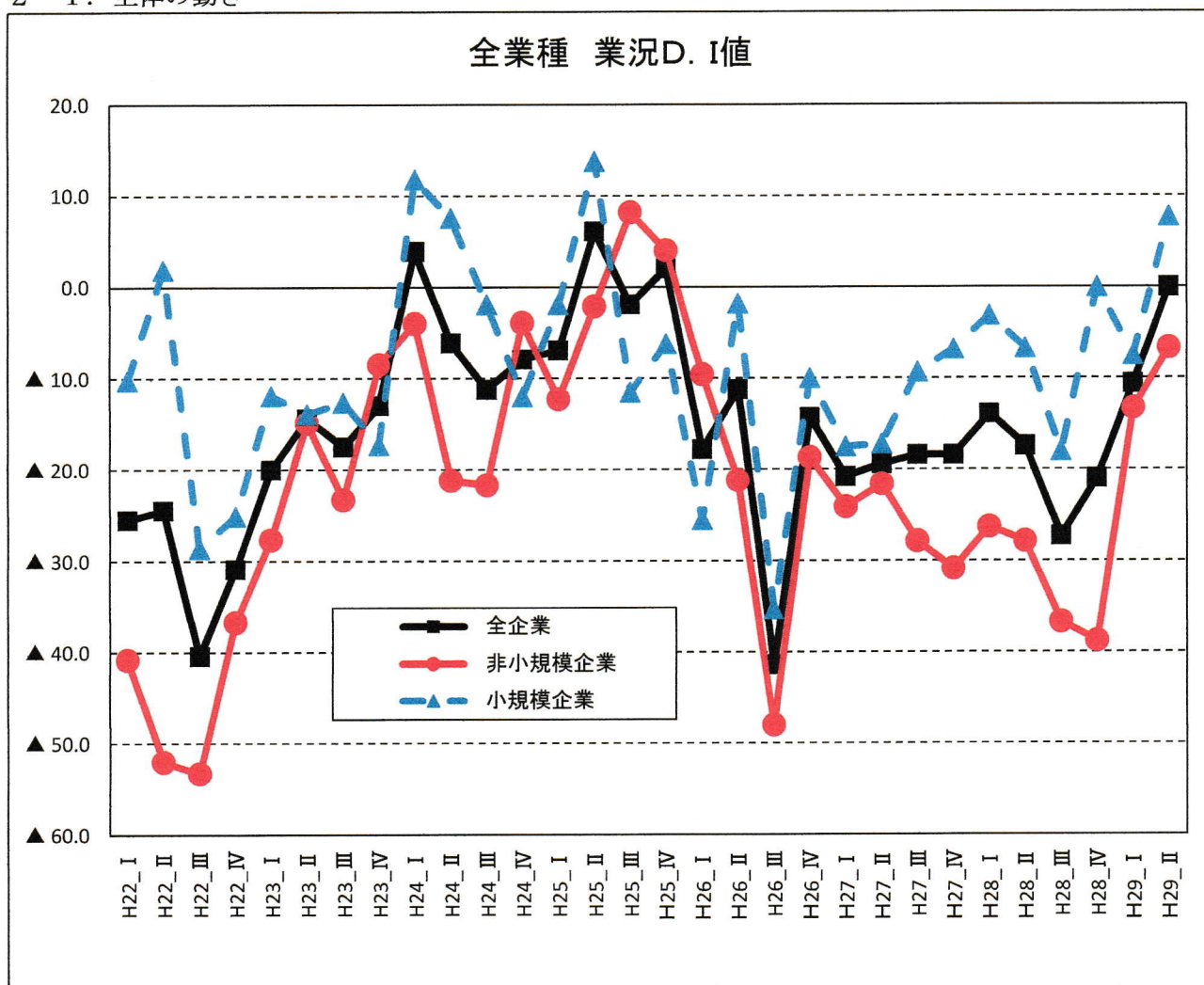
1-4. 回収状況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
建 設 業	30 件	18 件 (非小規模企業:10件) (小規模企業:8件)	60.0 %
製 造 業	24 件	20 件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:11件)	83.3 %
卸 売 業	20 件	16 件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:7件)	80.0 %
小 売 業	41 件	26 件 (非小規模企業:14件) (小規模企業:12件)	63.4 %
サービス業	44 件	33 件 (非小規模企業:18件) (小規模企業:15件)	75.0 %
合 計	159 件	113 件	71.1 %

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が 20 名以下（卸売業・小売業・サービス業は 5 人以下）を示している。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で、景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成29年度第I四半期<4月～6月>の業況は、前年同期比で「好転企業」17.7%、「悪化企業」28.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲10.6と前期に比べ10.4ポイント改善しました。規模別でみると、小規模企業のD.I.値は7.5ポイント悪化し▲7.5、非小規模企業は25.5ポイント改善し▲13.3となりました。全体としては、改善傾向にあるものの、13期連続のマイナス水準であることから、網走市における景気停滞感は依然として続いています。

業種別でみた業況は、建設業が0.8ポイント改善して5.6、製造業は10.8ポイント改善され▲5.0、卸売業は37.5ポイント改善され▲6.3、サービス業は10.9ポイント改善され▲9.1と回復傾向にあります。ただし、小売業は前期の▲30.3から0.5ポイント悪化し▲30.8となり、業種間に関きがみられます。

次期<7月～9月>の業況判断D.I.は10.6ポイント改善の0.0を予想しており、規模別でみると、小規模企業のD.I.値は7.7、非小規模企業は▲6.7となっています。

業種別では建設業22.2(前回31.8)、製造業▲0.5(前回15.8)、卸売業▲6.3(前回▲12.5)、小売業▲19.2(前回▲9.1)、サービス業9.4(前回▲5.7)と小売業の先行きに不安感が見られる。

経営上の問題点としては、「人材不足」が圧倒的に高く(回答の54.9%)、次いで「諸経費増」、「売上の不振」、「人件費増」、「得意先減少」が続きます。

全体としては景気の停滞感から回復・改善傾向が確認されるものの、「諸経費増」や「売上の不振」、「人件費増」が前回と比較して上位に来ていることから、企業経営としての経営改善の必要性がより求められている状況にあると推測されます。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	28.6 %	28.6 %	0.0	→
非小規模企業	40.0 %	20.0 %	20.0	↗
全 体	35.3 %	23.5 %	11.8	↗

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	12.5 %	12.5 %	0.0	→
非小規模企業	30.0 %	30.0 %	0.0	→
全 体	22.2 %	22.2 %	0.0	→

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	50.0 %	0.0 %	50.0	↗
	非小規模企業	10.0 %	10.0 %	0.0	→
	全 体	27.8 %	5.6 %	22.2	↗
完成工事高	小規模企業	25.0 %	12.5 %	12.5	↗
	非小規模企業	10.0 %	20.0 %	-10.0	↘
	全 体	16.7 %	16.7 %	0.0	→
資金繰り	小規模企業	12.5 %	12.5 %	0.0	→
	非小規模企業	10.0 %	10.0 %	0.0	→
	全 体	11.1 %	11.1 %	0.0	→

(2) 製造業

■生 産 高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	8.3 %	16.7 %	-8.4	↘
非小規模企業	33.3 %	33.3 %	0.0	→
全 体	19.0 %	23.8 %	-4.8	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0 %	27.3 %	-27.3	↘
非小規模企業	22.2 %	33.3 %	-11.1	↘
全 体	10.0 %	30.0 %	-20.0	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	0.0 %	27.3 %	-27.3	↘
	非小規模企業	22.2 %	0.0 %	22.2	↗
	全 体	10.0 %	15.0 %	-5.0	↘
生産高	小規模企業	0.0 %	27.3 %	-27.3	↘
	非小規模企業	22.2 %	0.0 %	22.2	↗
	全 体	10.0 %	15.0 %	-5.0	↘
資金繰り	小規模企業	0.0 %	27.3 %	-27.3	↘
	非小規模企業	11.1 %	0.0 %	11.1	↗
	全 体	5.0 %	15.0 %	-10.0	↘

(3)卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	28.6 %	28.6 %	0.0	→
非小規模企業	33.3 %	44.4 %	-11.1	↘
全 体	31.3 %	37.5 %	-6.2	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	14.3 %	28.6 %	-14.3	↘
非小規模企業	0.0 %	22.2 %	-22.2	↘
全 体	6.3 %	25.0 %	-18.7	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	28.6 %	14.3 %	14.3	↗
	非小規模企業	11.1 %	33.3 %	-22.2	↘
	全 体	18.8 %	25.0 %	-6.2	↘
売上高	小規模企業	28.6 %	14.3 %	14.3	↗
	非小規模企業	11.1 %	33.3 %	-22.2	↘
	全 体	18.8 %	25.0 %	-6.2	↘
資金繰り	小規模企業	0.0 %	0.0 %	0.0	→
	非小規模企業	0.0 %	0.0 %	0.0	→
	全 体	0.0 %	0.0 %	0.0	→

(4)小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	25.0 %	25.0 %	0.0	→
非小規模企業	14.3 %	50.0 %	-35.7	↘
全 体	19.2 %	38.5 %	-19.3	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	8.3 %	25.0 %	-16.7	↘
非小規模企業	7.1 %	50.0 %	-42.9	↘
全 体	7.7 %	38.5 %	-30.8	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	16.7 %	16.7 %	0.0	→
	非小規模企業	0.0 %	35.7 %	-35.7	↘
	全 体	7.7 %	26.9 %	-19.2	↘
売上高	小規模企業	14.3 %	35.7 %	-21.4	↘
	非小規模企業	0.0 %	42.9 %	-42.9	↘
	全 体	7.1 %	39.3 %	-32.2	↘
資金繰り	小規模企業	0.0 %	16.7 %	-16.7	↘
	非小規模企業	0.0 %	28.6 %	-28.6	↘
	全 体	0.0 %	23.1 %	-23.1	↘

(5) サービス業

■ 売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	13.3 %	13.3 %	0.0	→
非小規模企業	27.8 %	38.9 %	-11.1	↘
全 体	21.2 %	27.3 %	-6.1	↘

■ 採 算

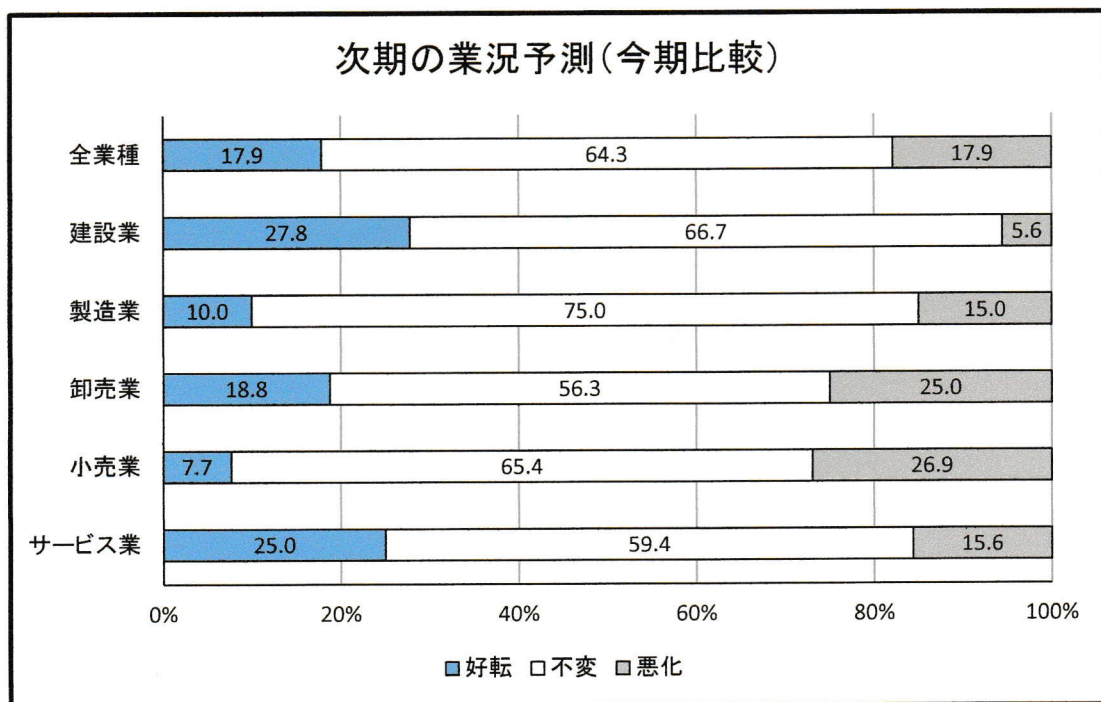
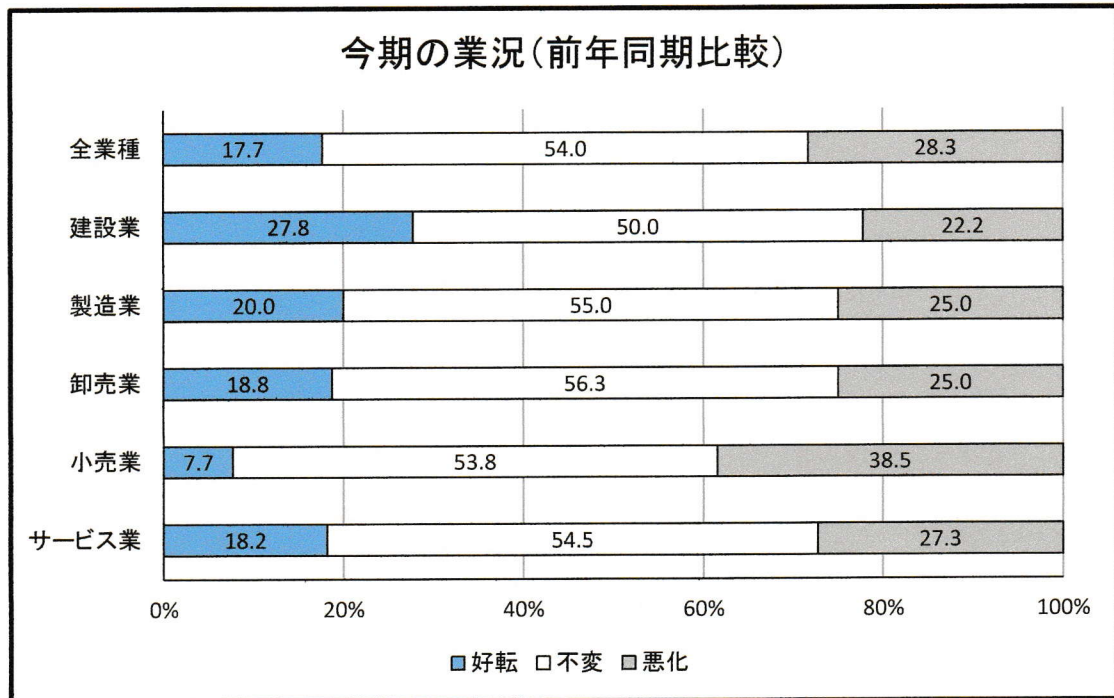
規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	20 %	33.3 %	-13.3	↘
非小規模企業	16.7 %	33.3 %	-16.6	↘
全 体	18.2 %	33.3 %	-15.1	↘

■ 次期の見通し

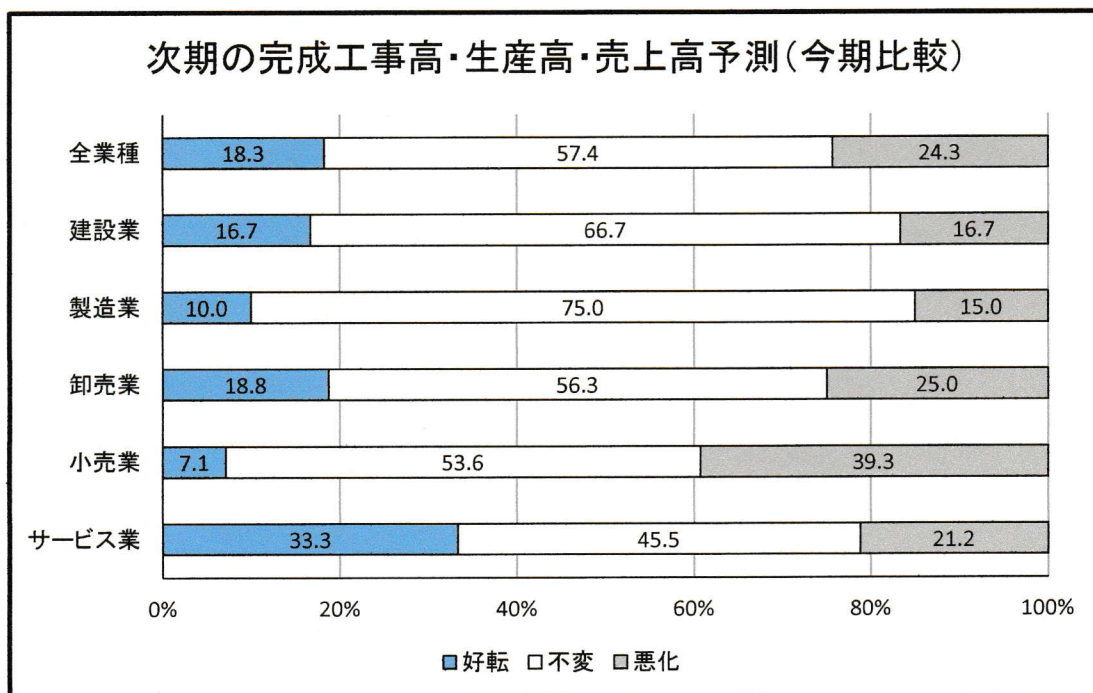
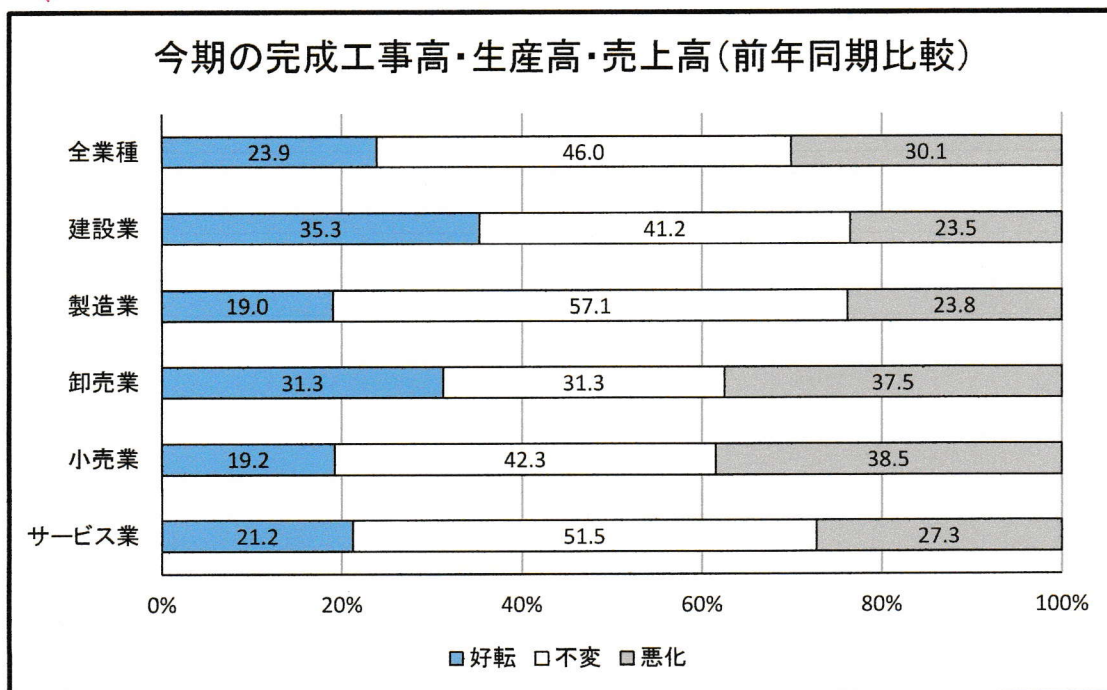
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	21.4 %	7.1 %	14.3	↗
	非小規模企業	27.8 %	22.2 %	5.6	↗
	全 体	25.0 %	15.6 %	9.4	↗
売上高	小規模企業	33.3 %	6.7 %	26.6	↗
	非小規模企業	33.3 %	33.3 %	0.0	→
	全 体	33.3 %	21.2 %	12.1	↗
資金繰り	小規模企業	26.7 %	6.7 %	20.0	↗
	非小規模企業	22.2 %	5.6 %	16.6	↗
	全 体	24.2 %	6.1 %	18.1	↗

第3章 各判断項目回答割合

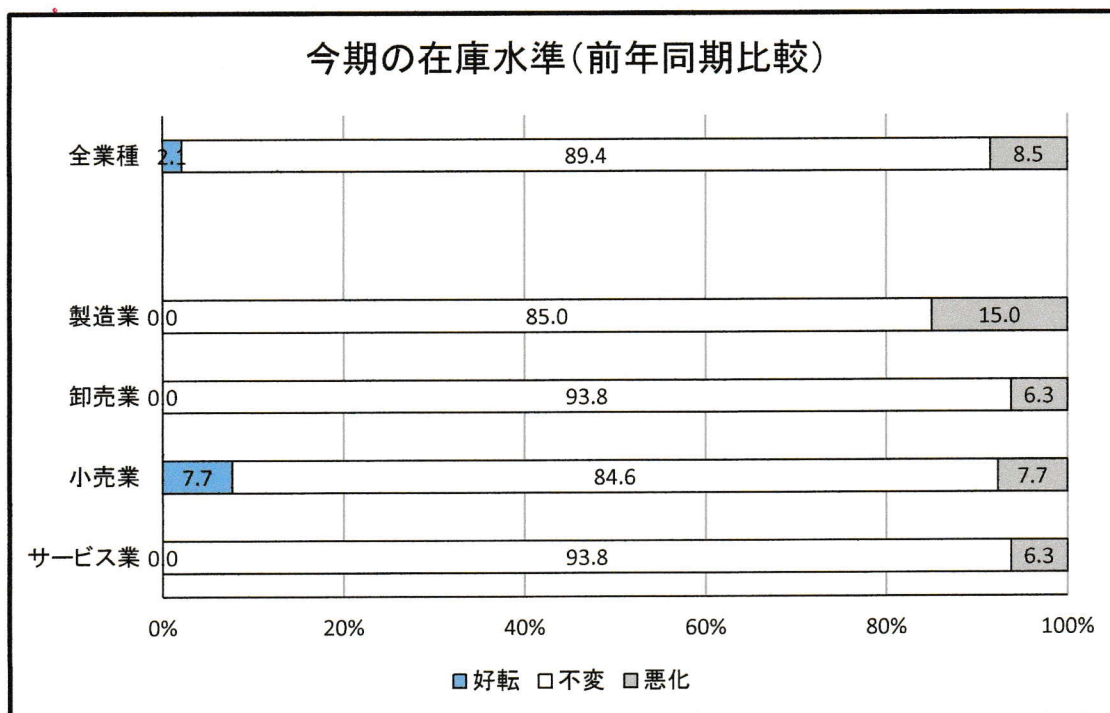
3-1. 業況



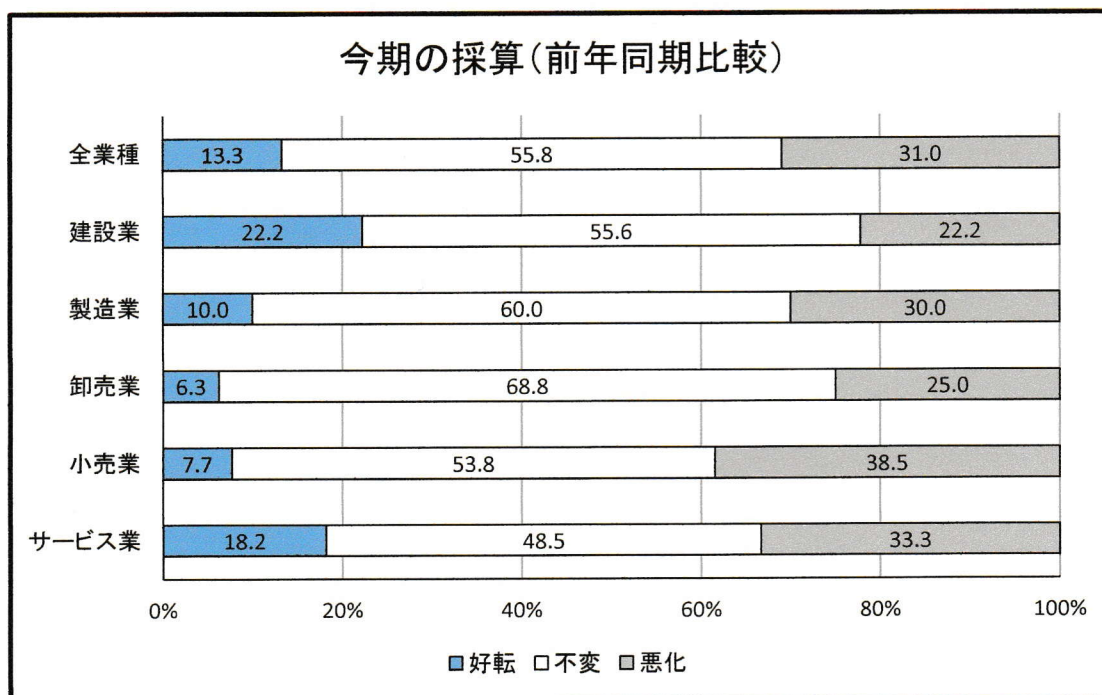
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



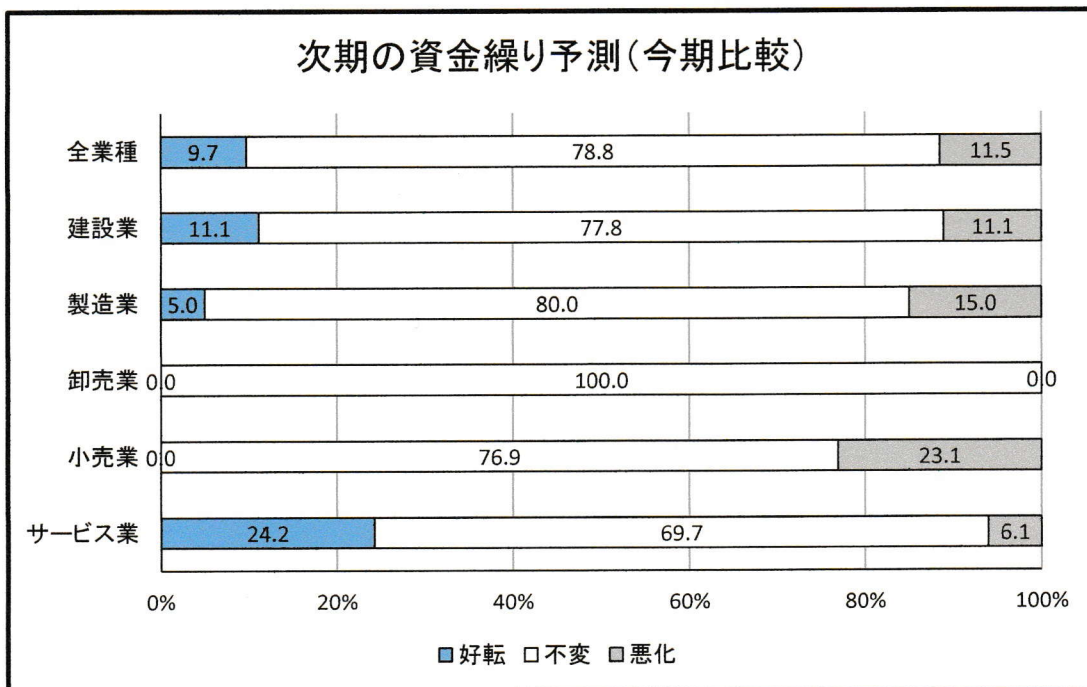
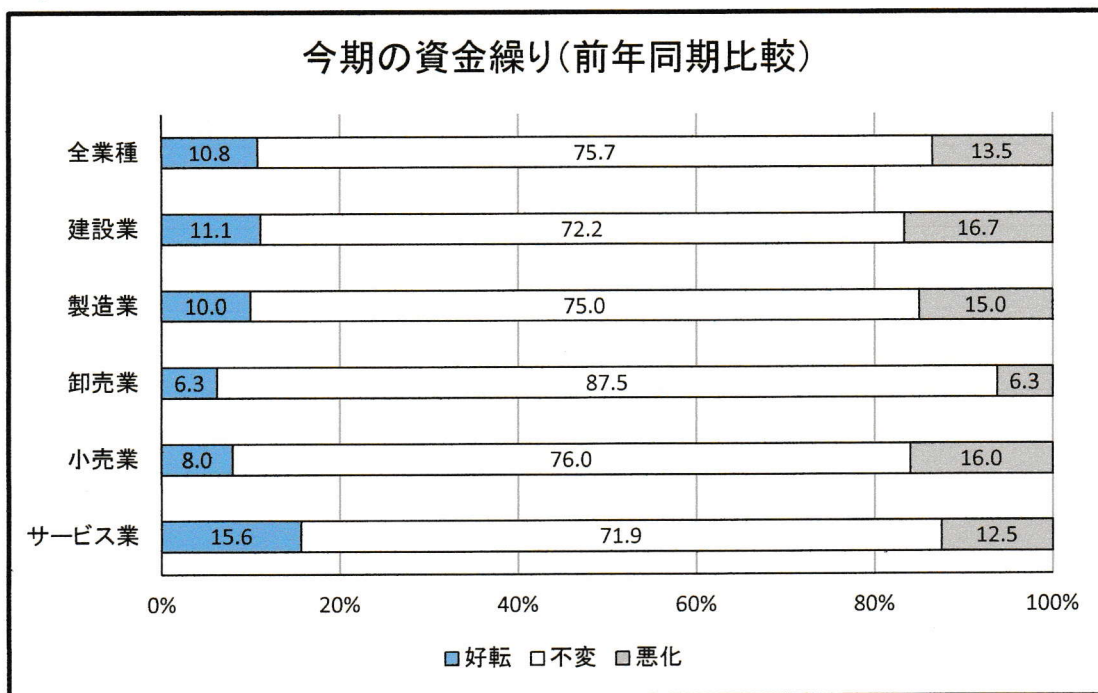
3-3. 在庫水準



3-4. 採算

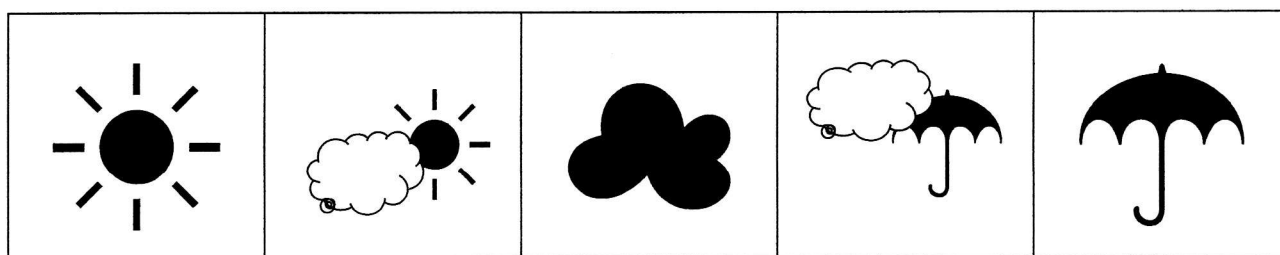


3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明



とくに好調
(D.I. ≥ 50)

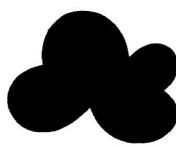
好 調
($50 > \text{D.I.} \geq 25$)

まあまあ
($25 > \text{D.I.} \geq 0$)

不 振
($0 > \text{D.I.} \geq \blacktriangle 25$)

きわめて不振
($\blacktriangle 25 > \text{D.I.}$)

4-2. 全業種 D.I.値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 $\blacktriangle 10.6$	 0.0
売 上	 $\blacktriangle 6.2$	 $\blacktriangle 6.1$
採 算	 $\blacktriangle 17.7$	
資金繰り	 $\blacktriangle 2.7$	 $\blacktriangle 1.8$

4－3．業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
建設業	業 況	 5.6	 22.2
	完成工事高	 11.8	 0.0
	採 算	 0.0	
	資金繰り	 ▲ 5.6	 0.0
製造業	業 況	 ▲ 5.0	 ▲ 5.0
	生産高	 ▲ 4.8	 ▲ 5.0
	採 算	 ▲ 20.0	
	資金繰り	 ▲ 5.0	 ▲ 10.0
卸売業	業 況	 ▲ 6.3	 ▲ 6.3
	売 上	 ▲ 6.3	 ▲ 6.3
	採 算	 ▲ 18.8	
	資金繰り	 0.0	 0.0

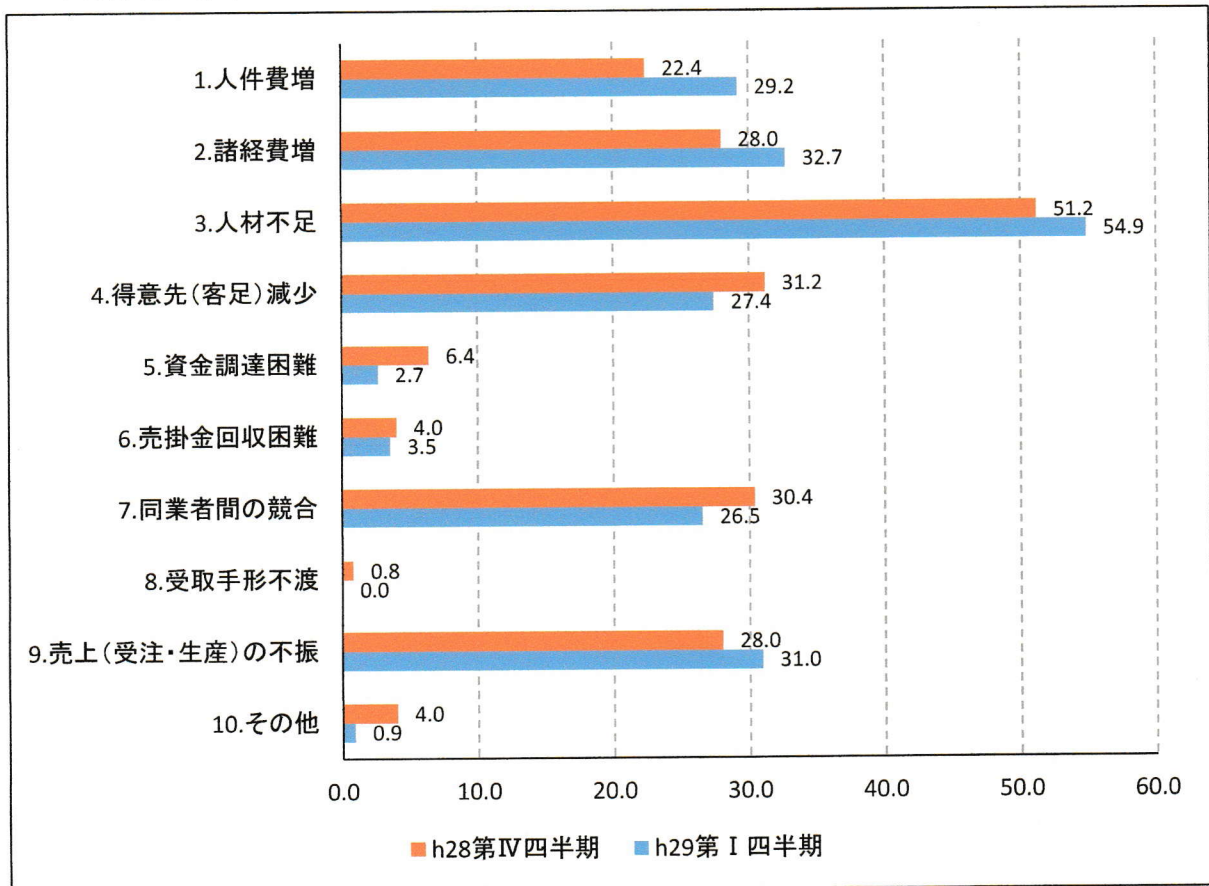
	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
小売業	業 況	 ▲ 30.8	 ▲ 19.2
	売 上	 ▲ 19.2	 ▲ 32.1
	採 算	 ▲ 30.8	
	資金繰り	 ▲ 8.0	 ▲ 23.1
サービス業	業 況	 ▲ 9.1	 9.4
	売 上	 ▲ 6.1	 12.1
	採 算	 ▲ 15.2	
	資金繰り	 3.1	 18.2

第5章 産業別経営上の問題点

5-1. 回答実数

業 種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	人件費増	諸経費増	売上の不振	同業者間の競合
製造業	人材不足	諸経費増	売上の不振	人件費増	得意先減少
卸売業	同業者間の競合	売上の不振	人材不足	得意先減少	人件費増
小売業	得意先減少	同業者間の競合	諸経費増 人材不足 売上の不振		
サービス業	人材不足	人件費増	諸経費増	売上の不振	得意先減少
合 計	人材不足	諸経費増	売上の不振	人件費増	得意先減少

5-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

第6章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	5 件	27.8	8 件	40.0	3 件	18.8	3 件	11.5	9 件	27.3	28 件	24.8
しない	13 件	72.2	11 件	55.0	13 件	81.3	23 件	88.5	24 件	72.7	84 件	74.3
無回答	-	-	1 件	5.0	-	-	-	-	-	-	1 件	0.9
合 計	18 件	100.0	20 件	100.0	16 件	100.0	26 件	100.0	33 件	100.0	113 件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを示している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合 計
土 地	-	2 件	-	-	-	2 件
店 舗	1 件	-	1 件	2 件	3 件	7 件
販売設備	-	-	-	-	-	-
車両運搬具	4 件	-	2 件	2 件	3 件	11 件
付帯設備	3 件	7 件	1 件	-	4 件	15 件
OA機器	-	-	-	1 件	-	1 件
福利厚生施設	-	1 件	-	-	-	1 件
その他	-	3 件	-	1 件	1 件	5 件

※複数回答があるため、表6-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(4件記述有り)

・工具・備品、工場、機械(製造業)、LED化(小売業)

第7章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・建設は得に繁忙期と閑散期が大きく、雇用という事をひとつとっても大きな問題になっている。年度が4月という既存概念をくずして、12ヵ月平均にして仕事がある状態を考えなければならないと思う。
- ・人材が高齢化するとともに若い人材の育成が不足している。

【製造業】

- ・網走前浜でのカニ水揚げ極度の不振に伴う価格暴騰。→カニ商品が生産できない状況。

【小売業】

- ・問題点ではないが、ドラッグストアの商品取り扱いの増加など、スーパーマーケットだけでなく、コンビニ、ドラッグストアとの競争が激しくなっている。

【サービス業】

- ・北海道の研修活動を盛り上げるには、外客（インバンド）の受け入れが大切（流動人口増）、航空機の活躍（LCC,チャーター機・地方空港利用）、J R北海道の維持、バス業界の活性化、車の（自家用車を含め）自動化。
- ・前年度から続いていた業績の下降傾向にも、若干ながら上向きになってきた。
- ・仕入値がわずかに値上がりしています。
- ・若年層の喫茶店離れが一番の悩みといえます。コンビニやファースト・フード店など全国展開するチェーン店はドリンク代が市内の喫茶店の半値以下で提供。価格面での対抗はもはや無理です。真心込めたきめ細かい接客サービスなど喫茶店（レストラン）ならではの独自の営業を模索していかなければ生き残れることは難しい。
- ・一般的な広告がうてないため、まだまだ当サロンが網走市民に認知されていないと感じていますが、今期はローカル新聞のインタビュー記事が掲載されたため患者が増加し、売上増加につながりました。